

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>



2024

7

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 6月例句会	19
川柳吟行会「ぼ」	28
十和田たてがみ川柳会 5月句会報	25
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	18
Infomation	32～

カンテラ

むねこ

このカンテラは、7月号に載る。
ということは、川柳ステーション2024が終わっ
ている。

この稿を書きながら、今年の川柳ステーションはど
んな盛り上がりを見せるんだろう、なんて思っている。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

A群

ひいらぎが守るポツンと一軒家 田中 薫
春なのに言えない話発芽する 坂本清乃
疲れ目に不意を突かれて突っ込まれ 嵯峨山登

きつと来る明日へ二合米を研ぐ 瀧尻善英
金棒を用意したのに来ない鬼 宮井いずみ
目覚ましがうつむきがちに鳴り響く 夏草ふぶき
サモトラケのニケは水の匂いする ひとり静
親展の中に入っていたうなじ 笹田隆志
全力で「バカ」って言うから愛おしい 戒 踊兵
右フック聖テレジアの吐息かな 金瀬達雄
友が逝くまた友が逝く花筏 葉 閑女

葉閑女さん、「友が逝く」「また友が逝く」というこ
とは友人が二人亡くなられたということですね。「花
筏」は、広辞苑によると『①花が散って水面に浮かび

流れるのを筏に見立てていう語。②紋所の名。花の枝
を折りそえた筏の文様。③おしろい下に用いた油性香
料の名。④ハナイカダ科（ミズキ科）の落葉低木。山
地に自生。高さ2〜3メートル。初夏、葉の上面の中
央に淡緑色の小花をつけるのを、花を乗せた筏に見立
てる。のち、球形黒色の果実を結ぶ。雌雄異株。若葉
は食用。ママコノキ。』ですが、この句の場合は①でしよ
うね。これからは「花筏」を見るたびお二人の顔がよ
みがえりますね。

B群

お勝手の右端にある深い海 まきこ
憧れるのを止めたら逢いにきませんか 三浦蒼鬼
過去形で褒められるから干からびる まみどり
独りぼっちって暮れやすい空だな きさき彼御吾
ひまわりと比べて見てるメロンパン 辻井洋子
一斉に啼くな夜半の消しゴム溱ぞ 岩根彰子
百花繚乱 雨の香りも混じってる 吉見恵子
踏んだと思うジャングルの端っこ 柳本恵子
せつかちな風鈴のふりしてしまふ 四ツ屋いずみ

負ける気の後出しジャンケンだったのに 熊谷冬鼓
空き缶はレフトが好きでたまらない 芝岡かんえもん
陽が落ちる私の影がたちあがる 村上てる
村上てるさん、「影」って難しい言葉ですね。広辞
苑に『①日・月・灯火などの光。②光によって、その
物のほかにできる、その物の姿。③物の後の、暗いま
たは隠れた所。』とあって驚きました。①と③ではま
るで反対のことです。私は①を「影」とは思っていま
せんでした。広辞苑の例にある「月影」なんて言葉は
もちろん使ったことがあります。ところで、てるさ
んの句の「影」は②ですよ。 「影」は普通「陽」が
照ると現れますが、てるさんの「影」は逆に「陽」が
落ちると「たちあがる」。川柳はそうでなくちゃね！
関係ないことですが、この句を読んだとき、何故か「立
ち上がると 鬼である」「パチンコ屋 オヤ 貴方に
も影が無い」という中村富二の句を思い出しました。

C群

染色体が並ぶコーラの瓶の底 須藤しんのすけ

わたくしの水のありかを知る真昼 米山明日歌
一匹創り一匹殺しガウディの傷痕 奈良一艘
ではなくて自動改札機を出る「ん」 守田啓子

須藤しんのすけさん、「コーラ」が好きなの？この句の「コーラ」はコカコーラですか？ペプシコーラですか？ま、どっちでもいいのですが、「瓶の底」に「染色体」並んでいるのはどっちですか？「染色体」って、細胞の中にあつて複数の遺伝子が記録されている構造体のことですよ。ね。「コーラの瓶」にも遺伝子があつただなんて、これからは「コーラの瓶の底」をしっかり見ることにしましょう。

米山明日歌さんの「水」はどこにあるのでしょうか。明日歌さんの体内にありそうな気もするし、冷蔵庫の中とか深い森の中とかそんなところのような気もします。昔、私がまだ役所に勤めていたとき、ヘリコプターで温泉の出るところを探すよう業者へ依頼したことがあります。あれって、実は地中の「水」のあるところを探していたのです。あ、関係ないですね（汗）この句を解く鍵は「真昼」「真昼」に「知る」ことがで

きる明日歌さんの「水のありか」って、秘密なんですよ。ね。普通の「水」なのかな…。

奈良一艘さん、「ガウディ」って、広辞苑に「スペイン、カタルニアの建築家。幻想的で特異な造形の建築を残した。代表作、サグラダ・ファミリア聖堂（未完成）。その作品群は世界遺産。（1852～1926）」と出ているひとでしょ？サグラダ・ファミリアは着工してから130年経っているそうですね。「一匹創り一匹殺し」で130年もやっているのか…。サグラダ・ファミリアって、ガウディ没後100年にあたる2026年に完成するって本当かな…。

守田啓子さん、「ん」って何ですか。私の知っている「ん」は一つだけ。「穏やかで上品なほのかな香りや綺麗な飲み口はそのままに、フルーティーで柔らかな旨みと程よい酸味が広がり、軽快感とキレの良さ、心地良い余韻が続きます」と言われる、青森県弘前市の「三浦酒造株式会社」が醸す純米酒豊盃「ん」です。でも、啓子さんの「ん」は違うみたい。豊盃「ん」が「自動改札機」を出てきたって話は聞いたことがないもの…、ん…。

おかしな川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅6月月間賞

つじつまを合わせてくれるマヨネーズ

ひとり静

鳴海賢治

【なるみけんじ・青森県つがる市】

ロウソクのかがり火に再会ちかう
寝不足になつてしまった 海に沈めた
立ち位置を確認しますカエルの子
それまでは輝いていたカニの足
暑い・寒い・暑い・暑い・寒い・寒い

先月号のお気に入り
おいしいと言わない君が皿舐めた ひらく
「らーじゅ川柳」ではないが、「いこね」。

ひとり静

【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

雲はいま動物園になるつもり
ひとときを守ってくれる水羊羹
ゆつくりと夢から覚めるパイプ椅子
サモトラケのニケは水の匂いする
石は蹴るべし綿100パーは叩くべし

先月号のお気に入り
ふるいたたせたのは灰色のホクロ 鳴海賢治
灰色のと言われればすぐポアロの脳細胞と思ってしまう。

まみどり

【まみどり・青森県黒石市】

過去形で褒められるから干からびる
メリハリを残すだなんて難しい
対等に比べられても今は今
明日には…つて一応言っておく
なるようにしかならないと袋とじ

先月号のお気に入り
許せますいつかは消える雪も人も 渡邊こあき
雪は納得、人は意外にしぶといからなあ…

三浦蒼鬼

【みうらそうき・青森県黒石市】

寝不足が続いて宇宙まで走る
国道沿いのネコカフェにある忘れ物
憧れるのを止めたら逢いにきませんか
へのへのもへじから始まった縁でした
自覚症状なくても溶ける角砂糖

先月号のお気に入り

ひらく

【ひらく・青森県蓬田村】

洗濯機明日はきつと晴れがくる
メリーゴーランド愛しい瞳の木馬よ
春の日に駄駄を握ねてる左足
攻撃は最大の防御バラのブーケ
苦い月ピョンピョン平の急斜面

先月号のお気に入り

まぎゃい

【まぎゃい・青森県青森市】

いかり肩はやめてといつも言われても
お勝手の右端にある深い海
合の手は決まっていますうさぎピョン
さすらいの流れに乗って旅半ば
オホホホでたらめばかり言う金魚

先月号のお気に入り
踏み出そうゆれる軸足だとしても 坂本清乃
そだね。踏み出さなくてはと思っけど…なかなかね。

峯島 妙

【みねしまたえ・大阪府大阪市】

丸ごとの水蜜桃を持って余す
恋心まだシャーレーで待っている
突然の築三十年の叫び声
すみっこを取り合う今日は参観日
ウクレレを弾くとき海に戻るとき

先月号のお気に入り
性善説ジャガイモの芽を取っている 柳本恵子
ジャガイモの芽の毒性と性善説の取り合わせが怖いです。

宮井いずみ

【みやいいずみ・大阪府大阪市】

金棒を用意したのに来ない鬼
半世紀前からズボンプレッサー
ぬめぬめ、あつ、危ないものは旨いんだ
ほうじ茶はほうじ茶 波のような声
なんじやこりやマークのついたシャトルバス

先月号のお気に入り
光らなくなった言葉を吊って 吉田州花
私の言葉集め帳、どんよりしてます。更新しなきゃ。

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

反応がさっぱりきつとつまらない
欺されたいつも笑顔のあの人に
踏んでも蹴つてもまだ許せないあのヤロー
右腕に触れたらきつと自爆する
電池切れだんだんスローになる私

先月号のお気に入り
言っではならぬ場所に落し蓋
危ない場所には蓋をしておきましょう
村上てる

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

後ろ髪ひかれて帰る夫入院
陽が落ちる私の影がちあがる
もう卒寿まだ卒寿と父母偲う
ちちははの苦労話は茄子の花
母卒寿娘が還暦で赤い飯

先月号のお気に入り
踏み出そうゆれる軸足だとしても
坂本清乃
考えてばかりでは何事もできない。自信がなくても踏
み出してみる勇気が大事と思う。

葉 閑女【ようかんよ・青森県青森市】

友が逝くまた友が逝く花筏
呼んだのか呼ばれたのか訃が二つ
友の死も知らず鶯ホーホケツ
急逝もサービスだよと棺から
レクイエムになつてしまつた荒木一郎

先月号のお気に入り
踏み出そうゆれる軸足だとしても
坂本清乃
そして、何かが始まる。

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

ミネストローネぐつぐつとランチは2時に
まったくもうポトフに合う酒つて何
多数決私はビール豚キムチ
インドア派には残念でした ほりにし
休息したい体 ゴックンおやすみ

先月号のお気に入り
若いとか老けたとかなど言わないで
まみどり
ほんとかたよねえ。

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

ではなくて自動改札機を出る「ん」
水曜の青森駅はうわの空
オーロラのような連絡船のような
夕暮れのあたしの駅は未公開
芍薬は蕾もうすぐ母の命日

先月号のお気に入り
錆びてゆく静けさにこそ降るさくら
吉田州花
年を重ねるごとにさくらが美しいと感じるのはその訳ですね

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

パン屋匂う告げたきことのやわらかし
ヘルプミー小さく揺れてガクアジサイ
編みかけのベスト二枚と梅雨に入る
踏んだと思うジャングルの端っこ
留守番のルンバがひらう涙粒

先月号のお気に入り
思い出を吐くには空が青すぎる
まぎこ
曇りの空に聞いてもらつことが多いなあ。

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

捨てたかったのは私空へと放物線
片面を青葉若葉に染められる
スマレ・ナノハナ戦通さぬ道標
しばらくは郭公となつて鳴いている
百花繚乱 雨の香りも混じつてる

先月号のお気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

この先は出がらしつぽくいく所存
来客にごま油香りでお出迎え
背泳ぎで来し方とやらを反芻
緑風にあおられ実力を発揮
せつかな風鈴のふりしてしまふ

先月号のお気に入り
風止んで君の化身かベニシジミ
葉閑女
心温かく少し寂しげな物語が始まりそう。その先を読ん
でみたいです。

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

まなざしが枯れて傾く春の庭
ふたりだと露骨に尖る夜の舌
わたくしの水のありかを知る真昼
その白い言葉のなかにいない鳥
さいしよから無かつたことに粉砂糖

先月号のお気に入り
波打ち際で濡れた乳房を渡される 奈良一艘
渡されたのなら、ありがたくいただきますよっ。

安藤なみ【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

消灯のあとはテコでも動かない
CMを見て買わないと決めたもの
丸腰の父が子供を抱きあげる
そのときは一馬力まで差し上げる
開店は胡蝶蘭にと決めた百合

先月号のお気に入り

戎踊兵【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

全力で「バカ」つて言うから愛おしい
脱ぎ捨てたはずの時間に戻される
春うらら生命線が艶を増す
手の平の異次元界から来た手紙
朝食は愛を歌ってからにする

先月号のお気に入り
思い出を吐くには空が青すぎる まきこ
真ん中の空から曇る予定です

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

長文の九官鳥が狙う椅子
右フック聖テレジアの吐息かな
春秋のバックは夏か冬かしら
バイソンに「いいね」を貰う浮かれ山羊
カワセミに為替の行方訊いてみる

先月号のお気に入り
さびしくはないが太腿が痒い 岩根彰子
私はさびしくなると痒くなります。

帆【いちほ・秋田県秋田市】

平静を装って春脱ぎ捨てる
運命線薄くなってゆく素振り
流れ星ゆつくりそれで少数派
多様性紙一枚に問うてみる
邪な気持ちで作るレモネード

先月号のお気に入り
どこまでも私の歩幅保ちます まきこ
そうありたいと思います。

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

ブーメラン囀んでさざれ石はニヒル
ぶかぶかのブルマーぶかぶか乳バンド
右旋回優先おしやる青蜥蜴
木下闇水羊羹に足掛けて
一斉に啼くな夜半の消しゴム滓ぞ

先月号のお気に入り

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

六道のこれより大腸に二泊
こんな文法力じゃ春は呼べない
たらればをひとまず三樽処分する
独りぼちつて暮れやすい空だな
さくら散る言葉の綾に躓いて

先月号のお気に入り
決心をするためにある長廊下ひとり静 まきこ
死という終わりを受け入れるための長廊下なのね

熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

野茨よいずれ陣地は明け渡す
負ける気の後出しジャンケンだったのに
雲行きが怪しい 漬け置きしておこう
味噌マヨか粗塩どっちもアリでしょう
鶏ささみの茹で方 めげない進み方

先月号のお気に入り
約束を破ってみたらと玉手箱 夏草ふぶき
心の声が入った玉手箱なのですね。

齋藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

聞き飽きた風のザワザワ海のザワザワ
その先を言うな 志が揺れる
風興す背中を僕は知っている
次の世もさくらのように灯りのように
退屈な老後と思うことは無い

先月号のお気に入り
凝りもせず積み木は箱に戻される 一帆
積んだり崩したり…それが積み木の宿命。私たちの宿命。

坂本清乃【さかもときよの・青森県蓬田村】

春なのに言えない話発芽する
今やること止めるやめると桜散る
一服の大福効いた午後の鍬
どうしても火種くすぶる露の穴
とりあえず苗だけ確保旬の味

先月号のお気に入り

嵯峨山登【さがやまと・佐賀県大和町】

嗚呼無邪気マスクを剥がす中学生
疲れ目に不意を突かれて突っ込まれ
伝言ゲーム突かれたはずが刺されたに
PTA絡む労災にはしない
実際はなかつたほどの傷でした

先月号のお気に入り
人間に近い方から首刈られ
会社でも集団でも国家でも。 田久保亜蘭

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

六ヶ所の血をラアーグへ置いてきた
親展の中に入っていたうなじ
吊るされたトルソは役にたつてるか
夏の夜のトロテンなり政府なり
遅咲きのお伽噺はみな四角

先月号のお気に入り
しょうがないマルクス主義のドアだから 米山明日歌
しょうがないなあ、マルクス主義にギブアップ

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

かわつてないな レモネードに云われる
空き缶はレフトが好きでたまらない
覚悟せよお辞儀のまままで終える旅
金庫をあける溢れでできた果し状
果てしない人の寒さに防寒着

先月号のお気に入り

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

夫子残し娘カンヌへ旅立った
孫を預かる嬉しさよりも緊張感
遅しき孫新幹線の一人旅
さみしさをこらえきれずに孫が泣く
思い出と新幹線が遠くなる

先月号のお気に入り
とりあえず母より長く生きたいが 木村美映
「百歳を目指す元氣な母がいる」がんばります。

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

オブラディ・オブラダ ローストチキン焼き上がる
信号の赤は私に似合わない
染色体が並ぶコーラの瓶の底
シガレットケースを捨てにくる港
各部屋に推しの引退した月夜

先月号のお気に入り
波打ち際で濡れた乳房を渡される 奈良一艘
しっかりと絵が見えるから不思議です。やっぱり人間性
ですかねえ。

Sin【しん・青森県外ヶ浜町】

黒魔法あげる やんごとなき人の
。に「話があるの」と告げられる
ファンファーレのあとに離婚のギターソロ
ほら、恥部がお留守になってますよ
夕焼けは夕食後にお飲みください

先月号のお気に入り
正解は噛みつく前に歯をみがく 宮井いずみ
どっちにしろ噛みつかれるわけですね…。

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

薄皮を剥がし詩人の顔になる
晩成と言われているが後がない
ブラックじゃないか報酬桃太郎
きつと来る明日へ二合米を研ぐ
僕が僕であるために飛ばした檄

先月号のお気に入り
「鬱」という字が書けなくて鬱になる むさし
先日まで「鬱」の字を書けたのに…。もしかして？鬱になるのは私だけでしょうか。

田中 薫【たなかかおる・青森県弘前市】

ひいらぎが守るポツンと一軒家
太陽も地球を案じているんだわ
真つ赤な絨毯敷きしめわたしを置く
アンバランス知ってるわ皆そうだって
憂鬱がからだを走って笑えない

先月号のお気に入り
わたしからわたしが出ていったみたい ひとり静
まさに今のわたしとガチなのです

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

さびしさを知っていますとドアが開く
門灯は誰にも見えていなかった
読み終えた詩集の文字が滲みだす
夕暮れの雨は寂しい音で降る
目覚ましがうつつむきがちに鳴り響く

先月号のお気に入り
煮りんごを焦がす4月のエトセトラ 熊谷冬鼓
4月は油断していると煮りんご焦がすよね。

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

あの頃の蒼を忘れた紫陽花が咲いた
カラハリ砂漠から届くさよならの匂い
アカシアの香りと割り切れない数字
一匹創り一匹殺しがウデイの傷痕
襟首にイルカ泳ぎの後先

先月号のお気に入り
どの面下げて辛いと言っのですか
あの一、この面です。すいません先輩。
鳴海賢治

旅男【たびお・青森県五所川原市】

看護師医師薬剤師問珍三珍
この風はΣ(。Π。)地球一周したオヤジ
嘘でしょ嘘でしょつて君の穴
玄関に葬儀婚儀のマスク掛け
立体裁断生きる寸法

先月号のお気に入り
あの人を信じてみよう木の芽和え 奈良一艘
木の芽が心身の芯に沁みる。先生を信じてみよう名荷たけ

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

内向きの危険予知です窓開ける
断りのメール何度も打ち直す
さくらんぼ可愛いだけで許される
ひまわりと比べて見てるメロンパン
茶碗蒸しステーキよりもうふつふ

先月号のお気に入り
また誰か死ぬの？波打つ水平線 土田雅子
ストライクにガンと受けました。波打つ水平線が響きました。

むさし【むさし・青森県蓬田村】

心の奥のそのまた奥の開かずの間
時の欠片を囓っては飲む缶ビール
星空を見たくてならぬ馬の足
まあいいかネズミがネコにじやれている
オーロラを両手にコピーして帰る

先月号の無人駅において、左記の部分に掲載ミスがありましたので、訂正してお詫びいたします。

6月号 四ツ屋いずみ 無人駅1句目

(誤) 素直な気持ちにうたれました。

(正) アーモンドで覆うぶきつちよの技量

深艘心理

新品の脳が時々うるさくて

田久保亜蘭

(会員雑詠集 無人駅4月号より)

「ワレワレハウチュウジンダ」と地球に来てから早500年ぐらいは軽く過ぎた。ご先祖は地球時間で紀元前2500年ほど前にエジプトのピラミッドを作る知恵を授けに来た隊の一員だったという栄誉がある家系であり、祖父は地動説を唱えたコペルニクスの影の師匠でもあり、父はかの有名な成吉思汗の軍師の一団に名を連ねていたという。かくいう私(宇宙人・亜蘭)は今でこそ秋田のナマハゲと言われているが、30年前には人類を制限する為にペスト菌をばら撒いて大量死させたお手伝い(ま、使いつ走りだったけど)をさせられたこともあるんですよ。後は？えーっと、そーだ。新撰組の芹沢鴨に酒と女を教えたのはオラだし…ただ、最近では自民党の裏金の作り方を教えてオラも少しキックバックを貰ったもんだから「由緒ある家系に泥を塗った」と親戚中から怒られて、今はキツイ監視下にあるんだわ(汗)

だもんで、なかなか川柳の大会にも隠れてじゃねーと出れねーし、日帰りでなければ新しく来たピカピカの新品の脳をもった監視人がウツルサーわけよ。これもそれも碌な業績もないオラの至らなさだべ。うむ。今は本部からの司令で「秋田犬」という名前をつけられた宇宙犬の世話をさせられてるんだあ。悲しーなあ、切ないなあ。すまん。何とかしてくれねーべが、一艘さん。おねがいだあー。と泣きを入れてきた。そんなこと言っちゃって、オマエは「ヤマグチ星系列秋田支部」だし、私は「ジャニーズ星系列青森支部」だし、接点も義理もないことだし、助ける事も何も出来ない。残念というかホツとしたというか…ま、そんなとこなのだ。

そろそろ出身星へ送還されるのも遠くはないのかもしれませんな。うむ。

「コレハシンジツナノダ」諸君！

ぼとぼと 鮫鯨のスープ

6月1日(土) 午後1時～ アウガ5階 小会議室

▼出席者(16名)

渡邊こあき・守田啓子・奈良一艘・一帆・きさらぎ彼句吾・葉閑女・熊谷冬鼓・まみどり・田中薫・野沢省悟・藤田智恵子・夏草ふぶき・笹田隆志・むさし・小野五郎・須藤しんのすけ

▼投句者(18名)

嵯峨山登・安藤なみ・旅男・芝岡かんえもん・米山明日歌・岩根彰子・柳本恵子・戒踊兵・鳴海賢治・宮井いずみ・峯島妙・村上あつこ・郷田みや・斎藤泰子・吉松澄子・城後朱美・坂本清乃・まきこ

おかじょうき川柳社

6月例会句会

席題『棒』

青森県青森市 渡邊こあき選

【佳作】

棒パンにパー券10枚ついてくる
 如意棒を詐欺に盗られた孫悟空
 滝行を終えてマッチの軸になる
 編棒の出番増やして恋成就
 ぞんびにもぼうにもなれぬまま夕陽
 定額減税うまい棒なら配ります
 デクノボウと言われて棒になってみる
 女偏天秤棒に乗る平和
 相棒交代 三度目の正直

小野五郎
 むさし
 小野五郎
 葉 閑女
 野沢省悟
 守田啓子
 むさし
 田中 薫
 一 帆

名札つけスタッフという棒になる
 左手をアルミの杖に仕立ててる

藤田智恵子

すぐ折れる棒です頼られています

まみどり

あちこちにたけのこそして卒塔婆

守田啓子

栄養が足りないらしいつまようじ

まみどり

マッチ燃え尽きる迄のさくらさくら

きさらぎ彼句吾

【秀逸】

綿棒の優しさ信じてしまえそう
 叩いていたらだんだん棒になってきた
 うちの畑の棒ですおひとついかが

熊谷冬鼓
 小野五郎
 須藤しんのすけ

【特選】

棒読みが得意な軽はずみの雨

夏草ふぶき

『何事も慎重にしていねいにしたいものです。』

席題『棒』

青森県三沢市 守田啓子選

【佳作】

棒を止めて水戸黄門でも見るか
 デクノボウと言われて棒になってみる
 綿棒の優しさ信じてしまえそう
 棒読みが得意な軽はずみの雨
 物干し竿家族全員干して平和
 うちの畑の棒ですおひとついかが
 雑巾をやぶから棒に渡される
 ぞんびにもぼうにもなれぬまま夕陽
 滝行を終えてマッチの軸になる

野沢省悟
 むさし
 熊谷冬鼓
 夏草ふぶき
 田中 薫
 須藤しんのすけ
 渡邊こあき
 野沢省悟
 小野五郎

すぐ折れる棒です頼られています

まみどり

外面用の四字熟語脱ぐと棒鱈

きさらぎ彼句吾

腹式呼吸ばかりしているうまい棒

野沢省悟

不埒なデクノボウでしたごめん

奈良一艘

マッチ燃え尽きる迄のさくらさくら

きさらぎ彼句吾

あきらめてぐらぐら揺れる棒を抜く

渡邊こあき

【秀逸】

叩いていたらだんだん棒になってきた
 相棒は月の砂漠へ行つたきり
 だとしてもしみじみとした棒でした

小野五郎
 奈良一艘
 奈良一艘

【特選】

如意棒を詐欺に盗られた孫悟空

むさし

『時事吟ですね、うまい!!』

宿題『コース』

青森県逢田村 むさし 選

【佳作】

第一のコースを通りますどいて
 老いそぞろ散歩コースを変えてみる
 三途の川は夕日で渡れるツアーです
 とりあえず君とは別のコース行く
 第三のコースに立っている般若
 親の決めたコースに親が悩みだす
 咲くまでは直線コースだったのに
 七軒の鰻屋がある帰り道
 コースアウトしたくてショッキングピンク
 出世コースに担担麺が流れ込む
 終章はりんごの花になるコース
 月の出は深夜遠回りしようか
 二進法の馬とダートを突つきつた
 プチプチを端からつぶし夜をこす

斎藤泰子
 葉 閑女
 野沢省悟
 まみどり
 一 帆
 城後朱美
 郷田みや
 須藤しのすけ
 郷田みや
 峯島 妙
 守田啓子
 葉 閑女
 きさらぎ彼句吾
 柳本恵子

死後までつづくワンタン麺のフルコース

蒟蒻のコースを選んだばかりに

鯉呼吸していた逆コースのプリン

流れ星の残像二人の雫

うぶ声から死ぬまでずっと代名詞

ガザの瓦礫引きずってきた五月闇

【五客】

回転寿司の皿に私の薬指

路線変更次々助詞を取っ替えて

観光コースのアウシュビッツ閉まる

森出ればホモサピエンスの地平線

この道はたぶん空耳の続き

【人位】

ウエディング離婚調停がん告知

【地位】

骨上げで終る私のフルコース

【天位】

人臭いコースだったよ寒すぎる

『「人臭い」か…』

笹田隆志

奈良一艘

岩根彰子

田中 薫

夏草ふぶき

小野五郎

野沢省悟

きさらぎ彼句吾

安藤なみ

藤田智恵子

奈良一艘

一 帆

きさらぎ彼句吾

守田啓子

守田啓子

宿題『多』

青森県青森市 小野五郎 選

【佳作】

柿若葉為替介入過去最多
 真昼間の空を埋め尽くして鴉
 雨の日でキムチ多めでつゆだくで
 泣いた泣いたたつぷり泣いた朝が来た
 多数決で私の老後決まるらしい
 修飾語まみれで眠くなっちゃった
 多弾頭にて愛まみれ豆まみれ
 多すぎるフリルでバスト読めません
 この恋に多すぎるのよ曲がり角
 悲しみを数える指が足りません
 滅多には無いおみくじのアレを引く
 口数の多い方です水鉄砲
 山椒を多めお断りの手紙
 洗脳します多機能タワシ持ってます

守田啓子
 嵯峨山登
 峯島 妙
 斎藤泰子
 村上あつこ
 吉松澄子
 旅 男
 米山明日歌
 米山明日歌
 む さ し
 戎 踊兵
 鳴海賢治
 宮井いずみ
 笹田隆志

多機能ナイフ日替わりの肉離れ

やりたいことたくさんあって便秘中

精子バンクにどれだけ売れば産めますか

かぎ裂きだらけの右側の乳房

一匹の蠅多様性受け入れる

病名は「多系統萎縮症」というEarth

【五客】

いもうとは多肉植物系である

プーチンが5人いるってマジツスカ

妻の服で窒息してるドレッサー

コーヒーは多めに愛は少なめに

裏道がどんどん増える運命線

【人位】

何百の羊数えても無明

【地位】

お星さまみんな死んでることにする

【天位】

「逢いたい」がペンの先から零れ出る

『「」を上手く使って感情を表現した。』

笹田隆志

奈良一艘

岩根彰子

田中 薫

夏草ふぶき

小野五郎

野沢省悟

きさらぎ彼句吾

安藤なみ

藤田智恵子

奈良一艘

一 帆

きさらぎ彼句吾

守田啓子

守田啓子

峯島 妙

城後朱美

笹田隆志

奈良一艘

守田啓子

奈良一艘

吉松澄子

む さ し

城後朱美

斎藤泰子

夏草ふぶき

奈良一艘

須藤しのすけ

須藤しのすけ

夏草ふぶき

夏草ふぶき

宿題『自由詠』

青森県弘前市 きさらぎ彼句吾選

【佳作】

あがいてもとどのつまりは土になる
 そこが響くと人間が嫌になる
 若干の喪失感と風の海
 クチナワと叫べば蛇も怖くない
 待ちぼうけ耳が勝手に歩き出す
 傷口は見せない話さない五月
 オーロラを浴びた林檎になれそうだ
 野太い香り母ちゃんの空気
 竹輪の穴でひっそり暮らすことにする
 新しいスマホ処理水が漏れている
 渦巻の中でポツンと生返事
 ちよこざいなフナムシだらけ3DK
 包丁が五丁母からのバトン
 畏かなあこんな甘いご案内

坂本清乃
 芝岡かんえもん
 守田啓子
 戎 踊兵
 まみどり
 斎藤泰子
 野沢省悟
 旅 男
 坂本清乃
 小野五郎
 郷田みや
 夏草ふぶき
 斎藤泰子

ポツカリと空いた心に詰める空
 空いつぱいの冬にねじこまれてる
 品格を保ち続けている毛穴
 ギガチャージ蛍の多く飛び交う夜
 飲めば飲むほど乾く陽炎
 美しい老い方なんてなんてなんて

夏草ふぶき
 芝岡かんえもん
 米山明日歌
 守田啓子
 米山明日歌
 吉松澄子

【五客】

性欲と言うほどでもない小糠雨
 柿の花柿の花納骨終る
 訳ありのたましいだけどポチだけど
 ケンカ売ってるの？アンパンマンの声で？
 本日は蓋の物々交換日

小野五郎
 守田啓子
 野沢省悟
 須藤しんのすけ
 安藤なみ

【人位】

剣呑な言葉をつつくもんじゃ焼き

峯島 妙

【地位】

奥の間へ敷くわアーメンのざらり

岩根彰子

【天位】

「嘘だ」からぼとぼと鮫鱈のスープ

宮井いずみ

※ 自分を直視できずに「嘘だ」と現実逃避してるのだろう。

十和田たてがみ川柳会五月句会

○日時 5月18日(土)

○会場 十和田労働福祉会館

○参加者 木村奈生美・佐藤まさあき・白山修治・

瀧尻善英・福田芳記・村上昌子・高田幸柳

○投句者 磯島雅男・城後朱美

■席題 『無』 白山 修治 選

【平抜き】

真つ当にやり遂げた子の無欠席
 無駄骨を積み上げ今の新しき
 空つぼの心断捨離遅らせる
 空白が無いと気づいた余命表
 太陽の恵み無限に降りそそぐ

木村奈生美
 村上 昌子
 村上 昌子
 瀧尻 善英
 佐藤まさあき

【秀逸】

失敗も次に生かせば無にならず
 無気力を根気に変えた誉め言葉

福田 芳記
 木村奈生美

【特選】

無理なことやってのけてた尊富士

佐藤まさあき

■席題 『無』 瀧尻 善英 選

【平抜き】

マイナカードかけた税金無にしてる
 無気力を根気に変えた誉め言葉
 人の輪を無にする奴がいて困る
 失敗も次に生かせば無にならず
 指導だと無理難題のテンコ盛り
 無理無駄と前に進まぬ理屈こね
 アイドルに夢中おばちゃんペンライト

福田 芳記
 木村奈生美
 木村奈生美
 福田 芳記
 高田 幸柳
 高田 幸柳
 佐藤まさあき

【秀逸】

無駄骨を積み上げ今の新しき
 太陽の恵み無限に降りそそぐ

村上 昌子
 佐藤まさあき

【特選】

無口だと口が六つの人が言う

高田 幸柳

■宿題 『群れる』

高田 幸柳 選

【平抜き】

大海に勇み旅立つ 稚魚の群れ
 甘い汁吸いたく群れる詐欺バイト
 牧童の声で移動の牛の群れ
 何かしら群れと一緒に生きている
 群れるのが苦手で丸い輪を抜ける
 不祥事に群れる報道吊りマスク
 撮り鉄が群れる踏み切りダイヤ変え
 ウミネコは群れて凄みを増す眼
 コロナ明けインバウンドの観光地

【秀逸】
 多数派の真ん中において群れている
 名ばかりの派閥解散また群れる

【特選】
 リーダーはいつも孤独で稚魚は群れ

佐藤まさあき

福田 芳記

佐藤まさあき

木村奈生美

城後 朱美

磯島 雅男

瀧尻 善英

村上 昌子

瀧尻 善英

城後 朱美

佐藤まさあき

■宿題 『矛盾』

木村奈生美 選

【平抜き】

タバコ売り医療費増やす国施策
 一つの世も矛盾だらけの永田町
 戦って互いの傷が残るだけ
 お互いに欠伸で返す猫会話
 減税へ増税するという矛盾
 丁寧語悪くないけど意味不明
 毒を吐く医者だが薬効いてくる
 乗り継ぎに矛盾抱える昇降機
 幸福と平和のために武器を持ち

【秀逸】
 節約と言つてうな重出前させ
 いきいきと生きる矛盾のスローガン

【特選】
 結婚後の矛盾に猫は気付かない

福田 芳記

城後 朱美

白山 修治

村上 昌子

高田 幸柳

村上 昌子

瀧尻 善英

磯島 雅男

瀧尻 善英

佐藤まさあき

磯島 雅男

城後 朱美

■宿題 『無策』

互選

①車椅子乗り継ぎ無人駅無策
 磯島 雅男

①口だけは元気で打つ手ない体
 村上 昌子

①手立て無い弱者支援に世の不信
 木村奈生美

①ヤマ外れ答案見てる無為無策
 佐藤まさあき

②壮大な国の設計なき総理
 福田 芳記

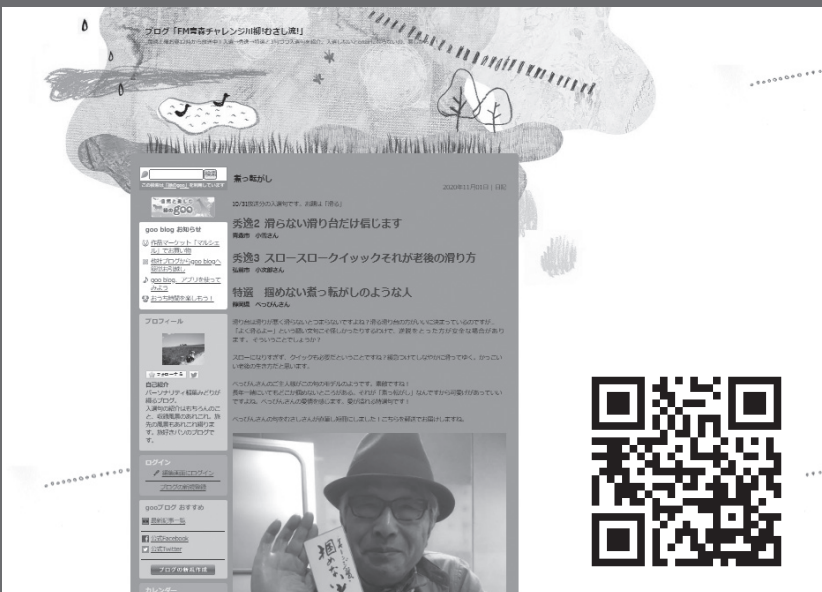
②善後策浮かばぬ会議 愚痴ばかり
 瀧尻 善英

②潔く負けを認めて巻き返し
 白山 修治

④前向きに検討しますでは無策
 高田 幸柳

◆十和田たてがみ川柳会八月句会案内◆

【時】 7月20日(土) 午前10時から 【所】 十和田労働
 福祉会館 【宿題】(各題三句詠) 『めげない』佐藤まさ
 あき選／『めんこい』福田芳記選 【互選】(一句詠)『目
 眩(めまい)』当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入)
 【席題】『当日発表』(二句詠・共選) 選者は、瀧尻善
 英ほか出席者から一名 【投句先】〒034-0212 十和田
 市米田字桜平72 高田幸柳宛



川柳吟行会「ぼ」課題『坂』

もともと川柳よりはるか前に正岡子規に出会った。病により逆立ち出来なくなつた子規。川柳を始めて柳号がなかつた頃瞬間的にひらめいた。子規に私の柳号に姿を変えて貰うことで、私が生きている間ずっと逆立ちしてもらおうと。

これまでに諦めた目標も多々あり恥ずかしい人生だが、子規に負けず最後の瞬間まで前を向き続けたい。妻にも母にもならず終つていく私の人生。しかし川柳に出会つた事で句の中で私は色んな立場に立つてきたつもりである。それらをくれた川柳に感謝しかない。
(村井規子)

【10点】特×2・佳×6

家族葬ですかと坂が立ち上がる

月波与生

【吉見恵子】意外性のある坂の擬人化が面白い。人間の祭りごとである家族葬を持つてきたところが句を面白くしている。【善江】最近「家族葬」が増えていきます。故人に寄り添うことに時間や気力・体力を充てることのできるメリットもあります。まずは、葬儀屋で費用の見積もりをしてもらわないと・・・。【朱美】遺書に、家族葬とあるけど、坂も不安がってる。【柳本恵子】これからもいくつかの家族葬に出席かなあと思いました。【いづみ】家族葬でもひとりの人を見送るのは簡単ではない。それを坂が立ち上がる」と表現したのがうまい。【文音】家族葬と坂が立ち上がるの取り合わせの関係が解りにくく、それでも気になり抜きました。【ふぶぎ】傾斜のあ

る坂が立ち上がるなんて、いざとなつたら頼れるものであるのですね。【五郎】ドラマチックな仕立て方。

【8点】特×2・佳×4

あなたへの傾斜 横顔の描写

峯島妙

【与生】資生堂の口紅のコピーのようである。「シャ」で韻を踏むのもリズムが整つていい。どうせ切れるので一字空けでなく「／」でカットしちゃつていいかも。【冬鼓】初々しい感情が巧く表現されている。韻を踏んだ傾斜と描写も無理なくさわやかでいい。【善江】「傾斜」中のあるあなたの横顔をいつも盗み見してしまいます。【啓子】「傾斜」「描写」がリズムをよくしている。抽象的な言葉なのに心に響く。なんだろう。【こあき】あなたへの傾斜が気に入りました。【かなえ】この複雑な傾斜は私にも覚えがあります。

【7点】特×3・佳×1

転げない位置を探している夕日

夏草ふぶぎ

【妙】この夕日は落日の作者でしょうか？転げ落ちる程度を計りながら沈んでいく切なさを感じます。【啓子】無事日の入りを済ませるためにも。最期も穏やかに。と

【6点】特×2・佳×2

喜寿というほどよく枯れた坂がある

滋野さち

【ふぶぎ】色んなことがある人生の坂が、ほどよく枯れたという表現がおもしろいですね。私もほどよく枯れて喜寿になりたいものです。【彰子】「いうほど」の言い回しと聞き慣れない「枯れた坂」の場所設定に佇まされた。【州花】ほどよく枯れた坂に思えてよかった。【冬鼓】「ほどよく」に肯定感と自然な受け入れを感じる。

【5点】特×2・佳×1

一晩で歩道が坂になつている

小野五郎

【こあき】コワイコワイ。一晩で坂が歩道になることを切に願います。生きやすい老後でありますように。【まあこ】今まで平坦だった道（人生）が突然坂道に…あります。【ふぶぎ】平坦で安全なはずのものが急にどんなでもない変化をすることがある、そうですね。

ガリレオが削った地球儀のくびれ 月波与生

【かなえ】「くびれ」がよく解らなかつたが、ガリレオの「それでも地球は回っている」の名言が浮かび、強制的に納得させられた。【隆志】地球儀のくびれを削ったガリレオの坂とはどこをさすのかとても気になります。【善江】偉大なガリレオの有名な「地球は丸い」発言は、実は「地球は太陽の周りを回っている」だとか。50億年後には太陽にのみこまれるかもしれません。発想のおもしろさ。

【4点】特×1・佳×2

黄泉平坂さらわれそうな母がいる 小野善江

【さち】黄泉の国との境界にいるお母さん。さらわれそうという表現が緊迫感を増して切ないです。【吉見恵子】黄泉比良坂でないのかなと漢字表記が気になったが、あの世とこの世の境目にあるとされる坂で、母の身を案じていることを表現した。【州花】現世と黄泉との境にあるということこの坂を私も一度通るのだろうか。

【3点】特×1・佳×1

坂の途中でおろす背負つてた母性 柳本恵子

【州花】母性遺伝などあつてこれがなかなか難しいの

います。【隆志】下り坂の途中の無とは言いで得て妙。

【2点】特×1

誰となく柳の坂と呼ぶ小道 宮井いずみ

【文音】四季折々の柳の景色を思いうかべました。小道は細くなりやがて一本の柳になつて行き止まりになるのだろうか。

【2点】佳×2

エッサホイサ海が観たくて登る坂 高木まあこ

【朱美】そうか、そうだよね。私も海が観たい。【彰子】山育ちで海を知らぬ憧れも無いがエッサホイサが楽しい。

猫町の坂の途中のねんねこ屋 吉田州花

【かなえ】「夕やけ だんだん」は憧れの場所。【彰子】坂の町は猫の町。ねんねこ屋が引き受けた。

下り坂の先のおぼろを見るふたり 小野善江

【妙】下り坂ばかり選んでます。終焉に気づいた二人【ま

はなかるうか。【さち】とつくに振り落としてしまった時間を振り返りました。

女坂だらだら椿のいさぎよさ 吉田州花

【柳本恵子】女坂は長い 椿の花との対比が良い効果が出ています。【吉見恵子】女坂と対照的な椿の潔さで作者の言いたいことを表現している。

花咲かせながらゆつくり登つてく 夏草ふぶき

【朱美】いいですね。私もこうありたい。今からでも遅くないかな?もう一花咲かせるぞ。【五郎】生き方を率直に表現した。

副虹がエンスト曼殊院の坂 岩根彰子

【いずみ】曼殊院は最寄り駅から坂を徒歩20分。副虹もエンストするという発想が楽しい。【与生】実は「副虹がエンスト」がよくわからない。異色だったので。

下り坂 途中に居る「無」と見つめあう 高木まあこ

【規子】私は坂の途中の無と結構しよつちゅう出会つて

あこ 人生の終盤のふたり。「おぼろ」が納得。

坂下りる濁点を半濁点にして 守田啓子

【まあこ】「半濁点」が上手い【冬鼓】「半濁点にして」に明るさや弾む感じが伝わる。

【1点】佳×1

坂降りるおしゃべりすぎる杖二本 城後朱美

孤独死と言われたくない登坂車線 岩根彰子

花束が語るカーブの下り坂 宮井いずみ

坂ひとつ越えたら次の坂が待つ 渡邊こあき

寄る辺ない坂だが掛け合う声はある 熊谷冬鼓

坂道発進できた今夜はデイスコだね 守田啓子

夏の坂登つて二重生活者 小野五郎

古希の坂スミレ菜の花淋しくはない 吉見恵子

戻ろうか上りきろうか無縁坂 渡邊こあき

敵前逃亡 だらだら坂下る 滋野さち

おかじょうき川柳社ウェブサイトからの投句について

現在、おかじょうき川柳社のウェブサイトは、サーバー移転のため、一部サービスが使用できない状況となっております。

みなさんがよく使用する「投句ページ」もすべて Google フォームへ移行して対応しています。

ただ、投句された方から、「画像認証がうまくいなくて投句できない」という声が多く寄せられています。これは、ロボットによる大量投稿を防ぐためのセキュリティとして行われています。

画像認証が出てくる人と出ない人がいますので、下記の方法をいくつか試してください。

①「Google Chrome」でウェブサイトを開覧する。

Android のスマホだと標準で「Google Chrome」となっているの「ロボットではありません」のチェックで済むようですが、iPhone は標準が「Safari」になっているため、画像認証が出てくるようです。**iPhone の方は、右の QR コードから「Google Chrome」をインストール**してみてください。



② Google アカウントを作成する

iPhone の「Safari」を使用しているも、**Google アカウントを作成してログイン**すれば、画像認証は出てこなくなります。Google アカウントを作成しておけば、いろいろなサービスがありますので、作ってみてはいかがでしょうか。



③画像認証を突破する

画像認証は右の例でいうと、9つのタイルから自動車が映り込んでいるものを**すべて選択**します。なかには、ギリギリに映り込んでいるものもありますので、注意が必要です。

ただ、**間違えても全然大丈夫**なので、それらしいものを選択して「確認」を何度か押してみれば突破できるはずですよ。



わかりにくい問題だった場合、ここで問題を変えれます

□ 2024.08.11 第 78 回青森県川柳大会

【日時】 8月11日(日) 午前10時から 【会場】 リンクステーションホール青森 【会費】 3千円(昼食代含む)、高校生以下無料(昼食付き) 【特別選】 「骨」(1人2句) 吉崎柳歩選【宿題(各題1人2句)】 「弱り目に祟(たた)り目」 熊谷冬鼓・濱山哲也共選 「穏やか」 三浦蒼鬼・千鳥鉄男共選 「身勝手」 むさし・野沢省悟共選 「人形」 瀧尻善英・田沢恒坊共選 【投稿】 作品は全て未発表に限る。応募用紙は6月12日正午から、同文化財団ホームページ (<http://www.toonippo.co.jp/feature/z-bunka>) からダウンロードできます。または、はがき大の紙5枚を使用し、それぞれの用紙の右上に特別選、宿題と朱書きした上で、各題2句ずつ必ず楷書で書いてください。新旧仮名遣いは問いません。いずれか1枚の裏面に郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、生年月日、電話番号を明記(学生の場合は学校名、学年も)。大会会費(郵便小為替)を同封し、「〒030-0801 青森市新町2の2の11 東奥日報新町ビル2階 東奥日報文化財団「県川柳大会係」宛」に送ってください。問い合わせは同文化財団(電話017-718-5115 平日午前9時~午後5時)へ【締め切り】 7月10日(水) 当日消印有効。直接持参する場合は午前9時~午後5時に東奥日報新町ビル2階へ(土日祝も可)【席題】 当日2題を出題(各題1人2句)。選者は2題のうち一方が福土慕情、田鎖晴天の2氏、もう一方が沢田百合子、高瀬霜石の2氏による共同選。【賞】 当日の出席者を対象に採点し、総合1位に県知事賞、2位に県議会議長賞、3位に県教育長賞、ほか20位までの上位入賞者に賞品を贈ります。優秀作品は東奥日報紙上と東奥日報文化財団ホームページに掲載します。※懇親会はありません。【主催】 東奥日報社 東奥日報文化財団【後援】 青森県・青森県議会・青森県教育委員会

□ 2024.08.20 川柳さっぽろ 800 号記念全国誌上大会

【課題と選者(各題2句・未発表句に限る)】 「じゃがいも」 真島久美子選(佐賀県) 「熊」 平井美智子選(大阪府) 「めんこい(かわいい)」 高橋みつちよ選(釧路市) 「ポプラ」 伊藤寿子(帯広市) 「蟹」 岡崎守(札幌市) 【投句締切】 令和6年8月20日(火) 消印有効【投句用紙】 指定の用紙をご使用ください(コピー可) 【投句料】 1,000円(定額小為替または現金、切手は不可) 【発表】 川柳さっぽろ11月号に掲載(応募者全員に柳誌贈呈) 【賞】 題ごとに特選賞、札幌川柳社賞(賞品は北海道銘菓等) 【投句先】 〒069-0821 江別市東野幌町46-10 嶋口幸美方/川柳さっぽろ800号記念全国誌上大会事務局宛 電話・FAX 011-383-5556 【問い合わせ先】 投句先まで 【主催】 川柳さっぽろ800号記念全国誌上大会実行委員会 実行委員長 佐藤芳行

■会費拝受【5月受付分】

中川喜代子(愛知県) / 芝岡かんえもん(神奈川県) / 村上てる・宮古中子(以上青森市)

■おかげょうき川柳社会員募集中!

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名:おかげょうき川柳社

→会費:6,000円(1年分)

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

(〒039-3502 青森市久栗坂字浜田 87-2)

終着駅 Sin

◆この号が出る頃には「川柳ステーション2024」も終わっていると思うが、事前投句の状況だと全国から60名ほどの参加者が来てくれることになっている。今から楽しみである。その「川柳ステーション2024」のゲスト・暮田真名さんが、歌人の高良真実さんとPodcast「短歌・川柳耳学問」を配信している。Podcastとは簡単に言うところラジオのような音声のみの配信のこと。Podcastの歴史は古く、2001年にAppleが発売開始した携帯型デジタル音楽プレーヤー「iPod」と「放送」を意味する「broadcast(ブロードキャスト)」を組み合わせた造語で、音楽を聴くように、音声配信をiPodに転送して聴くというスタイルが一時、流行した。その後、iPodがiPhoneへ進化し、動画コンテンツが主流となったことにより、Podcastも下火になっていくのだが、コロナ禍のあたりから、ワイヤレスイヤホンの普及もあっ

て、映像をずっと観ていなくてもいい音声メディアが注目されはじめ、Podcastもまた流行しはじめた◆私も「オールナイトニッポン」で育った世代であるからにして、このPodcastコンテンツが配信され始めた2004年頃に、川柳のPodcastを始めようとしたことがある。「これでも川柳おれは岸柳」のラジオ番組が2001年に終了したこともあり、スポンサーもお金も要らないPodcast配信はととても魅力的だったが、当時はまだスマホも普及しておらず、Podcastを聴くにはパソコンかiPodがなければいけなかったのも、誰も聴かない虚しい配信をし続ける自信がなく諦めたのである◆その暮田真名さんのPodcastはSpotifyというアプリで無料で聴けるので、一度聴いてみてほしい。私も20年の時を超えてPodcastに再チャレンジしてみたいと思うので、誰か一緒に喋ってくれる人を募集するので連絡ください(笑) ◆Sin

おかげょうき川柳社 作品募集案内

□ 2024.07.10 ㄨ 「川柳吟行会 ぼ」7月句会

【投句締切】7月10日(第2水曜日)【題・投句数】[『朱』2句【合評句会】7月17日(第3水曜日)青森駅前アウガ5階で14:00~【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *

それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方であれば、おかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。【メールでの投句】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓 宛



□ 2024.7.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句(9月号分)

【締切】7月20日必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)【掲載】9/10発行号【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/【メールでの投句】moriko@okajoki.com

守田啓子宛



□ 2024.08.03 おかげょうき川柳社本社6月句会

【時】8月3日(土)午後1時~【所】アウガ5階小会議室【投句締切】8月2日(金)15時【宿題】(各題3句詠)『カード』『知』/『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『ハーブ』1句【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



□ 2024.08.14 ㄨ 「川柳吟行会 ぼ」8月句会

【投句締切】8月14日(第2水曜日)【題・投句数】[『本』2句【合評句会】8月21日(第3水曜日)青森駅前アウガ5階で14:00~【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *

それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方であれば、おかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。【メールでの投句】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓 宛





おかじょうき川柳社：誌上句会

0 番線

- OKAJOKI ZERO LINE -

課題と選者（2句詠・共選）

題：『島』

7/31 〆切

選者

真島久美子（佐賀県）

Sin（青森県）

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

<http://okajoki.com/>へアクセスし、「投句する」→「0番線」を選び、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。



【メールで直接送信】

メール本文内に「作品（2句まで）」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号（ふりがな）」「電話番号」を明記し、件名に「0番線」として、**守田啓子宛**にメール送信してください。＜送信先アドレス：moriko@okajoki.com＞

投句料（※おかじょうき川柳社会員は無料です。）

1,000円（発表誌呈）*発表誌の送付をもって、投句料受領したものとさせていただきます。

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。